

12 月 24 日：ラリーは続かず下落

VN 指数は火曜日にラリーを続けることが出来なかった。年末のため支持材料もほとんどなかったことが要因だった。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.06% 下落し 958.88 ポイントで取引を終えた。

出来高は 2 億 2970 万株で売買代金は 4.2 兆ドンであった。

月曜日には 0.32% 上昇し 9559.43 ポイントで取引を終えた。

VN30 指数は 0.19% 上昇し 869.88 ポイントで取引を終えた。

VN30 指数の中で 15 銘柄は上昇し 12 銘柄は下落した。

南部市場全体では 142 銘柄が上昇し 177 銘柄が下落した。

コテコンズ建設 (CTD) が VN30 指数の中で最も値下がりした。4.5% 安の 53,100 ドンで取引を終えた。

その他の大型株では、ベトコムバンク (VCB) (1% 安)、バオベトホールディングス (BVH) (3.3% 安)、サイゴンビール (SAB) (0.7% 安)、軍隊銀行 (MBB) (1.4% 安)、ビングループ (VIC) (-0.2%)、テクコムバンク (TCB) (-0.4%) などが下落した。

BIDV 証券によると、年末にかけて支持材料に欠けるため、VN 指数は 950-960 ポイントの範囲で上下するだろうとのことだった。この場合、投資家はファンダメンタルズが良好で決算に期待のできる銘柄に投資すべきだと語った。

バオベト証券は VN 指数は 960-961 ポイントの抵抗線まで上昇すると予想する。同指数は 969-970 ポイントに向かって上昇すれば本格的な反発になると語った。

同社によると、セクターによってまちまちの動きになる。大型株は支持線まで値下がりしているため、反発が期待できるとのことだった。

外国人投資家はホーチミン取引所で 801 億ドンの買い越し、E1VFN30 (605 億ドン)、ビナミルク (VNM) (315 億ドン)、ホアファットグループ (HPG) (125 億ドン) などを買い越した。ハノイではわずかに売り越した。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.1%上昇し 102.45 ポイントで取引を終えた。

出来高は 2480 万株で売買代金にして 2425 億ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。